



LTX-H /
LTX-WH /
ステンレス型

手動式 リフトテーブル キャデ

取扱説明書

このたびは、手動式リフトテーブルキャデシリーズをご購入いただきありがとうございます。
この取扱説明書には、安全にお使いいただくための正しい操作方法と、より長くご使用いただくための手入れの方法を説明してあります。ご使用前に必ずよく読み、よく理解したうえで、正しくご使用ください。取扱説明書はいつでも利用できるよう大切に保管してください。
取扱説明書や警告ラベルを紛失された場合は、購入店にてお求めください。

各部の名称

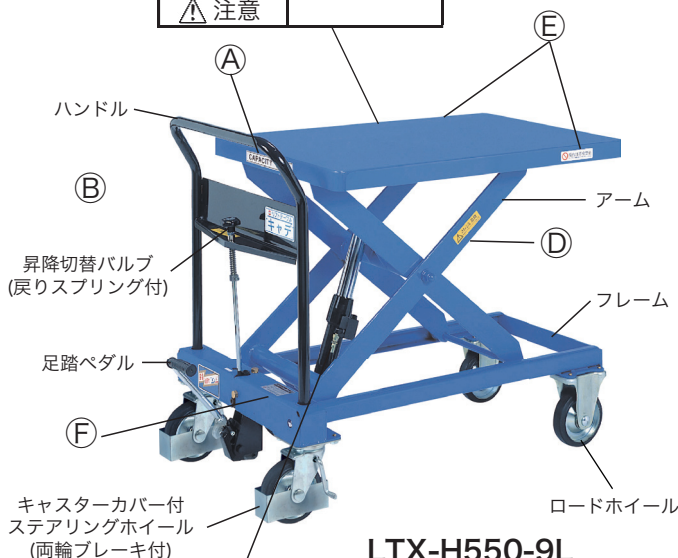
機械上の箇所が特定されない残留リスク	
⚠ 危険	
⚠ 警告	No.1,4
⚠ 注意	No.6



LTX-H100-6

キャスターガード、メンテナンスストッパー、
戻りスプリングは搭載していません

テーブル	
⚠ 危険	
⚠ 警告	No.2,3
⚠ 注意	



LTX-H550-9L

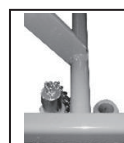
メンテナンスストッパー
(LTX-H200L-6、LTX-H400L-6 を除く)

昇降切替バルブ

2021 年より「昇降切替バルブ」
が右画像のタイプに変更されました。
操作方法に変わりはありません。



シリンダー	
⚠ 危険	
⚠ 警告	
⚠ 注意	No.5



操作時



点検時

Ⓐ **CAPACITY 000 kg**

Ⓒ **UP 昇降レバーは
DOWN ゆっくりまわす**

Ⓔ **荷台は搭乗禁止**
(テーブル) 転倒のおそれがあります。 32-16000

Ⓑ **降下させる時は、降下バルブを
ゆっくりまわす** 45-100020

Ⓓ **さわるな 危険**
手足を近づけないで下さい。 45632-590110

Ⓕ **製品銘板
機体番号**

小さな力を大きな力に変える。

O.P.K 株式会社 **をくだ屋技研**

●機械ユーザーによる保護方策が必要な残留リスク一覧

※1 「危害の程度」は、以下の定義に従って分類し記載している。



危険 保護方策を実施しなかった場合、人が死亡または重症を負う可能性が高い内容。

警告 保護方策を実施しなかった場合、人が死亡または重症を負う可能性がある内容。

注意 保護方策を実施しなかった場合、人が軽傷を負う可能性がある内容。

No.	運用段階	作業	作業に必要な資格・教育	危害の程度※1	危害の内容	機械ユーザーが実施する保護対策	アイコン
1	使用	全て	事業者が行う本機械の安全教育	⚠ 警告	傾斜、凹凸、段差のある路面や軟弱な路面で使用するとう貨物の落下により怪我をする	平坦な舗装路面で使用。傾斜、凹凸、段差のある路面や軟弱な路面では使用しない	
2	使用	全て	同上	⚠ 警告	機械の上に乗る転倒して怪我をする	貨物や機械の上には乗らない	
3	使用	全て	同上	⚠ 警告	過積載、片荷、集中荷重で積載した結果、機械が転倒し怪我をする	テーブルに2/3以上の等分布になるよう貨物を積載する	
4	使用	全て	同上	⚠ 警告	テーブルが下降するときアームやテーブルに挟まれる	下降時テーブルの下に手足を入れない テーブルの昇降時は周囲の安全を確認する	
5	使用	全て	同上	⚠ 注意	高圧ホースが破断するとテーブルが意図せずに下降して怪我をする	床面や突起物に注意して高圧ホースにキズを付けないようにする	
6	使用	全て	同上	⚠ 注意	金属の腐食により機械が破損して怪我をする	屋内で使用、保管してください	



注意

操作方法を誤ると人身事故の発生の恐れがあります。

①リフトした状態を長時間保持することはできません。僅かずつ降下します。
また、顔などに当たり危険ですので、テーブルは常に下まで下ろしてください。

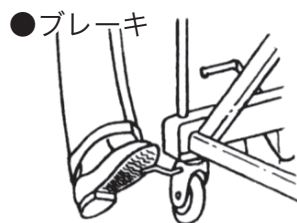
②お客様で改造は絶対にお止めください。

操作方法

※メンテナンスストッパーを操作時の位置にセットする。
クサリがアームに引っかからないようにしてください。

テーブルを上昇させるには

- ① キャスターのブレーキをかけ、周囲の安全を確認します。
- ② 昇降切替バルブが閉まっているか確認します。
※LTX-H100-6は右回転(時計回り)に軽く回してバルブを閉めます。
きつく閉め過ぎてはいけません。
- ③ 積載能力を超えていないか必ず確認します。
積載能力を超えて積載すると、チェックバルブが機能しリフトしません。
- ④ 積載貨物をバランスよく積載します。テーブルに2/3以上の等分布になるよう貨物を積載します。集中荷重、偏荷重、過積載をすると機械の損傷、転倒がおこります。
- ⑤ 足踏みペダルを負荷時は右、無負荷時は左にセットしてペダルを踏み出すと、テーブルが上昇を始めます。
- ⑥ 無負荷時にかぎりペダルを図のように左にすると2倍の上昇スピードが得られます。ペダルが破損しますので負荷時に使用してはいけません。
(LTX-H100-6/LTX-H150-7/7S/LTX-H250-8Sにはこの機能はありません)

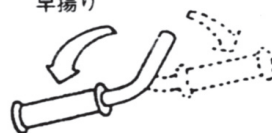


●ブレーキ

●早揚り操作

早揚り

負荷時



早揚りペダル説明図

●昇降切替バルブ



LTX-H100-6のみ

●運搬姿勢



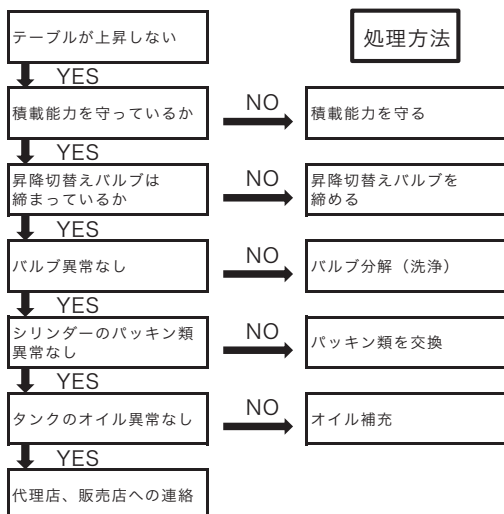
テーブルを下降させるには

- ① キャスターのブレーキをかけ、周囲の安全を確認します。
- ② 積載物の荷崩れをおこさないよう、昇降切替バルブをゆっくり左(反時計回り)へ回します。
- ③ 昇降切替バルブの回し加減で降下スピードを調整できます。テーブルを急降下させると積載貨物、機械、床面に損傷を与え危険です。
- ④ 昇降切替バルブより手を離すと降下が止まります。(LTX-H100-6を除く)

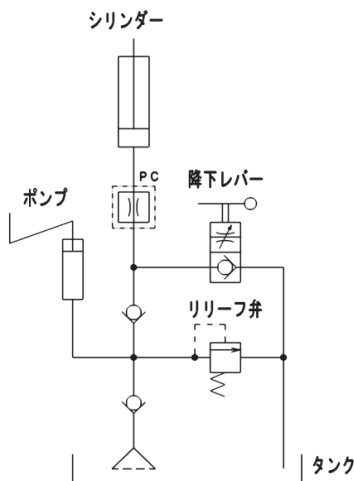
機械を移動、運搬するには

- ① キャスターのブレーキを解除します。
- ② テーブルを低くして運搬します。重心が低くなり安定性が確保できます。
- ③ 走行中、急発進、急旋回、急停止をしたりブレーキを使用してはいけません。

昇降しないときの処理



油圧回路



始業点検・定期点検

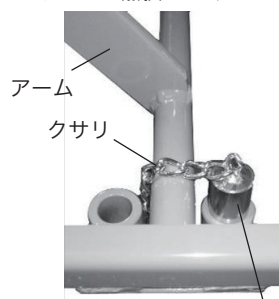
作業の安全と機械の性能を維持するため、始業時及び定期(月次 / 年次)に下記の点検を実施してください。

〈無負荷で正常に作動するか確認した後、負荷テストをしてください。〉

点検内容

- フレーム各部に金属疲労、ひずみ、異音はないか
- 各部のボルト、ナットにゆるみはないか
- 回転部分、メタル、ブッシュ異常摩耗はないか
- 車輪に異常摩耗や傷はないか
- テーブルの昇降動作、機能に異常はないか
- ブレーキは正常に作動するか
- 油圧装置(シリンダー、オイルタンク)の油漏れはないか
- 高圧ホースにキズ、油漏れはないか

※メンテナンスストッパーを点検位置にセットして点検してください



メンテナンスストッパー

給油

■ ポンプのオイル交換は年一回

ポンプオイルは漏れない限り半年から1年は補給不要です。

オイルの取換え、補給の際は次のオイル又は同等品を使用してください。

出光石油	ダフニースーパーハイドロ 32 A
新日本石油	ハイランドワイド 32
シェル石油	テラスオイル T32
コスモ石油	コスモハイドロ HV32

※ブレーキオイルの使用は厳禁です。

小さな力を大きな力に変える。

O.P.K. 株式会社 せくだ屋技研

本社 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上 263
本社営業課 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上 263
東京支店 〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-36-12 滝本ビル 5F
仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 3-11-6-7
高崎営業所 〒370-1203 群馬県高崎市矢中町 316-2-102
名古屋営業所 〒463-0017 名古屋市守山区喜多山 1-6-22
福岡営業所 〒812-0894 福岡市博多区諸岡 1-19-27

TEL.(072)362-2111 (代) FAX.(072)362-2115
TEL.(072)361-7888 FAX.(072)362-7022
TEL.(03)6805-6072 FAX.(03)6805-6073
TEL.(022)296-1207 FAX.(022)296-1208
TEL.(027)353-3625 FAX.(027)353-3626
TEL.(052)794-8812 FAX.(052)794-8814
TEL.(092)581-8400 FAX.(092)581-8333

無断転載禁止